

令和5年度 伴走型小規模事業者支援推進事業 地域経済動向調査まとめ

(令和5年 2023年 6月値・要約版)

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域が、全国と比較してどのような特徴があるのかを分析しています。詳細はたつの市商工会HPで公開しています。

(データ出先：小規模景気動向調査、兵庫県中小企業景況調査、西播磨地域景況調査、たつの市商工会景況調査)

産業全体の景気動向の推移

〈用語説明〉D I値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す
(調査事業所4、「好転」事業所1、「悪化」事業所3なら、25%-75%＝-50%がD I値)

<概要>

最新の日銀短観(2023年6月)の調査結果によると、中小企業の業況判断DIは「先行き」に関して、製造業では改善したが非製造業では悪化が見込まれている。依然として続く物価上昇によるコスト増、人手不足による従業員の確保難や人件費の増加なども懸念されており、今後の動向には引き続き注意が必要である。

<地域別>

【全国】

2023年4-6月期の全産業における業況判断DIは、▲13.2(前期差10.1pt増)となり、前期から回復。製造業の業況判断DIは、▲15.5(前期差8.8pt増)となり、前期から回復した。

建設業の業況判断DIは、▲18.0(前期差7pt増)となり、前期から回復した。商業の業況判断DIは、▲20.6(前期差10.6pt増)となり、前期から回復した。サービス業の業況判断DIは、1.1(前期差13.6pt増)となり、前期から回復。前期に比べて全体的に回復しているが、原材料高騰は依然として続いており、価格転嫁と共に思うように収益確保が出来ていない。

【兵庫県】

企業の業況判断は足もと改善し、先行きも横ばい圏内を見込んでいる。個人消費は回復に向けた動きが広がっている。輸出は、増勢が鈍化している。設備投資は増加傾向にある。生産は一進一退の動きとなっている。有効求人倍率は前月を下回った。雇用者所得は全体として改善の動きが見られる。倒産件数は前年を上回った。

【西播磨】

西播磨全体の業況は、▲9.0(前期差11.6pt増)となり、前期から回復。売上高は、0.8(前期差14pt増)となり、前期から回復した。採算状況が、▲19.5(前期差14.3pt増)と回復、資金繰りは、▲15.8(前期差8.5pt増)となり、前期から回復した。来期は、▲13.5(前期差1.9pt増)で回復する見込みとなっている。全国と同様に回復傾向となっている。

【たつの市】

たつの市の業況は、▲14.0(前期差16.8pt増)となり、前期から回復。売上高は、▲16.0(前期差10.9pt増)となり、前期から回復。採算状況は、▲46.0(前期差2.1pt増)となり前期から回復した。資金繰りは、▲20.0(前期差2.7pt減)となり、前期から悪化した。来期は8.0(前期差23.4pt増)で回復するとの見通しとなっている。

前期に引き続き、原材料の高騰による仕入値や商品価格の改定が次々となされ、各業種においても厳しいながらも価格転嫁により、徐々に利益確保に繋げている。

<業種別業況>

全国的には、6月期の産業全体の業況は、売上DIがわずかに悪化、採算・業況DIはわずかに改善し、資金繰りDIが小幅に悪化した。経済活動の正常化を背景に、5期連続で売上DIがプラスで推移し価格転嫁に向けた取り組みが進み、採算性も改善してきている。一方、コロナ融資の返済開始が資金繰りの悪化に影響を及ぼしている。また、人手不足から需要拡大に対し、供給が追いついていない状況にある。

<総括コメント>

国内景気は、緩やかに回復している。先行きについては雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

たつの市においては、人流が多い地域柄であるので、新型コロナウイルス感染症にも引き続き配慮しつつ、各事業者においては経営計画により、政府の経済対策(小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金等)も十分に活用しながら事業継続への取り組みを引き続き積極的に行う必要がある。

管内の雇用情勢

〈用語説明〉有効求人倍率＝求人数÷求職者数
(仕事が20件 求人応募者10人 なら 2.0倍)

令和5年6月期の有効求人倍率は、全国1.3倍、兵庫県1.0倍、龍野管内0.8倍となっている。原燃料高が続く中、人件費も上昇基調とあって人手不足の中でも新規採用に慎重になる製造業の動きが広がったとみられる。

たつの市は減少傾向であるが、兵庫労働局は足元の雇用情勢についての判断を据え置き「持ち直しの動きにやや弱さがみられる」とした。

